



周囲の支えで
親子の笑顔が
あふれる場所に—

活用事例4

子育て支援 × 空き店舗

つどいの広場
ほっぺ
(子育て支援施設)
☎0287(73)8648
方京3-15-9 2F



つどいの広場ほっぺが入る2階建ての店舗。1階は美容院となっています。

地域とともに、子を育む場所へ

「大家さんや不動産屋さん、多くの人に支えられて、ここまで出来ました」。そう語るのは、NPO法人子育てほっとねっとの理事長を務める西田由記子さん。平成26年3月にオープンしたつどいの広場ほっぺは、未就学児とその両親や祖母が集う場所です。

以前は事務所として使われていた店舗を改装したそうで、「工務店を営む大家さんが私たちの活動を理解してくれて、入居前に化学物質を使わない板に張り替えてくれたり、階段に子ども用の手すりを付けてくれたりしました」。家主や下のフロアの事業者が、子育て支援を目的とした施設ということを理解し、協力してくれたのが、この物件への入居の決め手となったそう。オープン前に



は駐車場の確保にも苦労したそうで、家主が周辺地域にかけ合い、場所を見つけてくれたといいます。「時々大家さんがやってきて、『こんなにたくさんの子どもたちが集まる場所として使ってもらえて嬉しい』と言ってくれるんです」と優しく微笑んだ西田さん。「ママたちからはここにくるとまったりできると好評です」。そう語る西田さんの目の前には、窓からたっぷりの日差しが差し込み、温かい木のぬくもりに包まれた空間が。そんな中を子どもたちが元気に駆け回り、にぎやかな声が響き渡ります。地域の子どもが集う場所へと生まれ変わったこの店舗には、新たな命が吹き込まれていました。

活用事例3

創業 × 空き店舗

地域に愛される店を目指して—



高齢化や後継者不足などで廃業する店が増え、中心市街地にも点在する空き店舗。そんな中、空き店舗が再び人々が集う場所へと生まれ変わった事例を見てみましょう。

ちか
上岡 千科 さん
—クレーパルセンター
くれーぷばる 千
(クレーパル店)
☎070(2836)1359
永田町3-8

夢を叶え、地域を元気に

「小学生の時から夢でした」。そう語る上岡さんは、昨年12月に念願のクレーパル店をオープンさせました。子育てに奮闘しながら、調理師免許を取得し、クレーパル店で腕を磨いてきたという。

「ちょうどタイミングが合い、今の物件に巡り合えました」。JR西那須野駅前に位置するこちらの店舗は、戦後まもなく建てられたという歴史ある建物。リフォーム施工会社の方が非常に協力的だったそうで、「開店まで2カ月しかありませんでしたが、予算内に収まるよう古材を見つけてきてくれたり、開店前のさまざまな手続きのアドバイスしてくれたり、サポートしてもらえて心強かったです」。

以前は事務所だったという店内は、木材を多用した温かみがある古民家風の落ち着いた空間。

そこで作られるクレーパルは、試行錯誤を重ねて独自に配合した生地が評判となっています。50種類以上もあるトッピングから選び、自分好みのクレーパルが味わえます。

家族のように接してくれる地域の方のためにも、「長く地域に愛される店にしたい」。夢を叶えた上岡さんの挑戦はまだ始まったばかり。

創業でまちを元気にしたい方を応援！
チャレンジショップ事業

中心市街地の空き店舗を借りて、新しくお店を開業する人へ家賃の一部を補助します。空き店舗での創業を考えている人は、問い合わせてください。

▶問い合わせ 市商工会 ☎0287(62)0373
西那須野商工会 ☎0287(36)0697

お客さんと会話がしやすいよう対面式のカウンターを採用。

